

本市には、様々な企業が立地しています。市民の皆さんはどのような企業があり、そこでどのような製品が誕生し、またどのような人が働いているかご存じでしょうか。リレー形式で、市内の企業やものづくり・人づくりについて紹介しています。

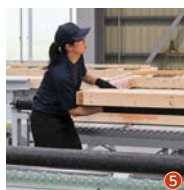
市内企業のものづくり・人づくりを紹介！  
企業のちから

No27 The company in Shirakawa

日本都市開発(株)白河パネル工場

住所：大信増見字下川原19-4  
事業内容：ツーバイフォー住宅建築用木製パネルの製造、組み立て

最新鋭の加工機械で効率化  
多くの女性が活躍する木材加工工場



- ① 製造された木製パネル。最新鋭の設備が月産3,000坪分のパネル加工を可能にしています。
- ② 工場外観。事務所の屋根に太陽光発電システムを設置し、工場内照明の電力を賅っています。
- ③ 社員の皆さん。ほとんどが地元採用です。
- ④ クリーンな工場内部。設備の中には国内唯一の機器もあります。
- ⑤ 作業工程を工夫することで、大きな材料を女性でも扱えるようにしています。
- ⑥ 「毎朝の朝礼で作業の確認や安全管理の徹底を促しています」と話す青木さん。

「私たちの会社は、関連会社である日本住宅(株)が建築するツーバイフォー（枠組壁工法）住宅用の床や壁、屋根などの木製パネルを製造しています。また、建築場所での製品組み立ては、大工などの職人で編成する自社のチームが行っています」と話す工場長の青木薫さん。

日本都市開発は、平成2年に岩手県盛岡市で創業。業務拡張に伴い、交通の利便性や立地条件などから、平成25年6月に白河パネル工場を建設しました。ドイツ製やデンマーク製など最新鋭の加工機械設備を有し、加工作業のほとんどを機械化しています。また、保有する在庫を必要最小限に抑え、無理・無駄を減らし、受注から出荷までを効率化することで、高い生産性を目指しています。

敷地面積は15,174㎡、社員は50人。高い品質を保持するため、男女を問わずどの工程でもこなせる社員の育成と、組み立てチームの建築技術を引き継ぐ若手職人の育成に力を注いでいます。

「木材加工は男性の力仕事のイメージがありますが、機械化により多くの女性社員が活躍しています。これからも安全管理を徹底し、均一な製品づくりを心掛けていきます」と青木さんはほほえみながら話してくれました。

冷房は28℃に設定しよう  
白河市はチャレンジ25キャンペーンに参加しています。

ふくしま destinations キャンペーン

ツーリズムガイド白河 推薦スポット②

しらかわの贈り物



奥州街道の東北への玄関。白坂にあり、陸奥（福島県側）と下野（栃木県側）の国境を挟んで、境の明神の二社が並列している。

解説

東北への玄関。奥州街道「境の明神」

文禄4年（1595）に、当時白河を支配していた会津藩主の蒲生氏が社殿を造営しました。現存するのは弘化元年（1844）に建てられた小祠（小さな祠）です。奥州街道は五街道のひとつで、奥州・越後などの諸大名が参勤交代で通行し、旅人や商人などの往来も盛んでした。このため、道中の安全を祈り、灯ろうや碑の寄進が盛んに行われています。境内には越後新発田藩や南部藩などの灯ろうが並び、松尾芭蕉を含む5人の句碑や歌碑が建立されています。ぜひご覧ください。



ツーリズムガイド白河副会長 平野 剛さん Hirano Takeshi

ツーリズムガイド白河では会員を募集しています。☎（公財）白河観光物産協会 ☎1147

「いいね！」を押して市の情報をチェック



白河市公式ページ



https://www.facebook.com/city.shirakawa

Introduction of the cover

今月号の表紙

今月号の表紙は、関の森公園（旗宿）の相撲道場で行われた「震災復興相撲教室」です。（公財）日本相撲協会の有志でつくる「どすこいボランティアチーム」と、東大、東北大、国学院大の各相撲部が合同で開催しました。参加した約45人の子どもたちは、出羽海部屋の出羽疾風さん（表紙）や藤の花さんとの相撲を楽しみました。取り組み後には、相撲関係者と双葉町から避難している方たちが作った特製のちゃんこ鍋が振る舞われました。